

一般質問発言通告書

発言順位 14番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 6年 9月 5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 9 番 服部 正平

質問事項 1	先進地に学び「補聴器購入補助制度」導入を
具体的内容	高齢期における難聴は日常生活に様々な支障をきたすことが明らかになっている。 三島市は「健やかに生き ともに支えあい 幸せを育む 地域共生社会の実現」と、「第10次三島市高齢者保健福祉計画・第9期三島市介護保険事業計画」を策定し、「住みなれた地域で自分らしく暮らしていけるように」と謳い、今後この計画を基本に本市の高齢者施策の着実な推進に全力を傾けると述べている。 その考えを持たれている本市に対し、「加齢性難聴者への補聴器購入補助制度」の実施を求め以下伺う。
1	市がこの間調査研究された成果物について以下伺う (1) 「加齢性難聴者への補聴器購入補助制度」が県内15市町に広がりを見せている。他市町が導入した目的・理由について (2) 他市町がどのような調査に基づき上記(1)に至ったか。
2	加齢性難聴者が補聴器を装着することのメリットに対する市の考えについて (1) 補聴器装着の重要性についての市の認識について (2) 市内高齢者の加齢性難聴の実態把握の有無について
3	市が策定した「第10次三島市高齢者保健福祉計画・第9期三島市介護保険事業計画」の推進にあたっての「補聴器の有用性」について
質問事項 2	市内の道路管理と歩行者・運転者の安全意識（法令順守）の高揚に向けて
具体的内容	市内の道路整備に関わっての市民要望は毎年絶えることがなく、市民意識調査における上位に『歩道の整備』がこの数年来“不満率”は40%台。自由意見欄においても道路・交通に関する意見は他のカテゴリーと比較しても大変多く寄せられている。 老朽化がみられる標識、消えかけた道路標示。舗装面の劣化は複数箇所見られる。市道延長も伸びてきており、その維持管理は相当な労力と費用がかけられているが、市民要望に追いついていないと言え難いと思える結果が市民意識調査に現れている。 路面や標識・標示の劣化状況により補修がされる。しかし、その基準は明確なものとして市民に示されているか、また、道路標識・標示に起因する違反行為・事故も起きていることからその対策も必要と考え以下伺う。
1	路面、道路標識、道路標示 其々の維持管理、改修基準について
2	道路形状、道路標示より誘引される違反行為を防止する対策について (1) 交差点におけるショートカット右折車の対応策を求める。 (2) 歩車分離交差点における歩行者の斜め横断防止に向けスクランブル交差点に。
3	市道と私有地の境界線の明確化について
4	通学路の安全対策としての「ゾーン30」の新設の可能性について